



## それでいいのか 特別職給与・議員報酬は

自由民主党議員団 境 公司議員

**問** 特別職の給与削減は23年12月で終了し、一般職の給与と議員報酬の削減は24年3月で終了となった。減額措置については、今後、どのように考えているのか。

**答** 累積赤字が解消したため、給与の削減措置は23年度で終了する。今後も職員数の削減による総人件費の抑制など、財政構造強化指針に定めたルールを遵守し、継続して行財政改革を行うことで実質収支の黒字を継続できるよう、財政の健全化に取り組んでいく。

**問** 24年度予算は、どんな点に注意を払って編成したのか。これは、財政構造強化指針に沿った予算なのか。

**答** 市長選挙で掲げた市政公約の実現の第一歩であり、市民の負託にこたえることを念頭に置いて取り組んだ。

財政構造強化指針を遵守し、経常経費の枠配分の継続、職員配置適正化方針に基づく総人件費の抑制、市債発行額の抑制、職員退職手当積立基金の積み立て等を行うこととし、再び赤字基調の財政運営を強いられないことがないよう、財政規律の確保に留意し編成を行ったため、同指針との整合の取れた予算となっている。



**問** (仮称) 中心市街地にぎわい交流施設整備事業(旧レマン跡地)については、新栄町駅前再開発事業と一体で総合的に考えていくべきではないか。

**答** 民間活力による住宅整備、本市の交流施設整備事業、再開発準備会による市街地再開発事業は、それぞれに機能や役割を持たせ、相乗効果を生み出すものであり、新栄町地区の総合的なポテンシャル向上につながるものと考えことから、今後も地元住民、民間事業者、商工会議所等関係団体との協力、役割分担のもと、再開発事業の推進と交流施設の整備を進めていきたい。

**問** 有害鳥獣(イノシシ)対策は十分ではない。国の支援事業を含め、どのような予算の組み立てをしたのか。

**答** 市として313万7千円、国の支援事業の要望額を420万円し、23年度に比べて約100万円増の733万円を見込み、有害鳥獣による被害軽減に努める。



## 胃がん撲滅に向け 胃がんリスク検診の導入を

公明党議員団 今村智津子議員

**問** 胃がんの原因の95%はピロリ菌であり、感染症だと判明した。胃がんリスク検診は、このピロリ菌の感染を調べて発症リスクを把握するもので、検査も容易だ。胃がん撲滅に向けて導入してはどうか。

**答** 今後、国の健康増進計画策定の動きや、他の自治体の動きなどを注視したい。ピロリ菌検査や除菌方法などは、胃がん対策に有効であることが医学的にも証明されており、様々な情報を積極的に周知していきたい。

**問** 新年度予算では、多くの新規事業、内容拡充事業などに取り組む予定になっているが、どのような点に重点を置いて予算配分をしたのか聞きたい。

**答** 産業振興ビジョンに基づく地域企業の支援、三池炭鉱関連施設の世界遺産本登録への取り組み、帝京大学の新学科開設に向けた支援、さらには、中心市街地の活性化として、(仮称)中心市街地にぎわい交流施設の整備や民間による新栄町駅前再開発事業の支援など、まちを元気にする取り組みを行っていく。

**問** (仮称) 中心市街地にぎわい交流施設整備事業は、市民に分かりやすく説明する責任があると思う。市民の声をどのように反映して事業を進めていくのか。

**答** 様々な機会で本事業に対する関係者の意向を伺ってきた。今後も対話を通じた施設整備を進めたい。

**問** 国民健康保険税の引き上げで負担を強いられるのは困るとの声や、市の赤字が解消したのなら、もっと公費の投入をとの意見も聞く。財源確保の考え方を聞きたい。

**答** 税率改正による被保険者への影響を最小限にとどめるために、財源の平均不足額の約半分を目途に、3年間かけて段階的に税率改正を行うこととしている。これとあわせ、国保積立基金の活用、医療費の適正化並びに一般会計からの繰り入れ増による財源確保等を行う。

**問** 不育症の治療であるヘパリン自己在宅注射に保険が適用され、負担が軽減した。流産・死産を繰り返す女性のために周知が必要だと思うが、考えを聞きたい。

**答** 産科等の医師が治療を行う中で周知が図られるものと考えるが、保健師等も相談に対応できるよう努めたい。